

特許出願の番号	特願 2006-540294
起案日	平成 22 年 10 月 7 日
特許庁審査官	田中 慎太郎 3244 5S00
特許出願人代理人	柳田 征史 (外 1 名) 様
適用条文	第 29 条第 2 項、第 36 条

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものです。これについて意見がありましたら、この通知書の発送の日から3か月以内に意見書を提出してください。

 $\frac{1}{2}$  11

Figure 1

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において、頒布された下記の特許公報に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覽参照)

請求項： 1 乃至 17

引用文献：1乃至3

### 附录：

引用文献１には、端末において、ユーザＩＤ等のユーザ識別ＩＤを入力してサーバに送り、サーバにおいて、予めユーザ識別ＩＤに対応付けて記憶されているユーザしか知らないユーザ固有の情報を端末に送り表示させ、ユーザは、当該表示された情報が正しければ、人に知られたくない暗証番号を端末に入力することで、偽者の端末やサーバにより暗証番号等を盗まれることを防止する発明が記載されている。

一方、データを送受信する際に、MACや署名でデータを保全することや、暗号化することは本願出願当時既に周知の手法であり、当業者であれば適宜採用し得た程度のものである。

また、ユーザを認証する手法として、暗証番号を用いた認証のほか、生体認証

も本願出願当時既に周知の認証手法であるから、引用文献1に記載の発明においても、暗証番号による認証に代えて生体認証を用いるようにすることで本願発明とすることは、当業者にとって容易である。

また、例えば引用文献2、3に記載されているように、取引を行うにあたって、前回の取引に依存した情報を用いてセキュリティを高めることが周知技術であったことを考慮すると、引用文献1においてセキュリティを高めるために提示するユーザ固有の情報として、前回の取引に依存した情報を提示するように構成する程度のことは、当業者にとって容易である。

その余の相違点についても、当業者であれば本願出願当時既に知られた技術等に基づいて適宜成し得た設計的事項の範囲内である。

〔理由2〕

この出願は、特許請求の範囲の記載が下記の点で、特許法第36条第6項第2号に規定する要件を満たしていない。

記

請求項: 1

備考:

(1)

「前記ユーザを識別する識別情報(32)を判定するステップ(30)」、「前記ユーザの個人的特徴(56)を判定するステップ(58)」なる記載の「判定」なる文言が、どのような処理内容について述べようとしているのか不明である。

また、「判定」とは、物事を判別して決定することを意味しているが、端末において、ユーザを識別する識別情報に対して判別して決定するような処理が、本願明細書の何れの記載に対応しているのか不明である。

(2)

「データ(36)」がどのようなデータであるのか不明である。

(3)

「前記ユーザによる前記取引の前記認可を示すかまたは実証するために」なる記載は、日本語の技術文章としては意味不明な記載である。

請求項: 7

備考:

「確認データ」なるものがどのようなデータであるのか、請求項の記載からは明確に判断することが出来ない。

(どのような確認を行うデータであるのか明確にされたい。)

請求項: 8

備考:

(1)

「前記秘密データ(SEC)を判定できるデータ」とは、技術的にどのようなデータを意味しようとしているのか明確に把握することが出来ない。

(2)

「前記ユーザによる前記取引の前記認可を実証するステップ」なる記載は、日本語の技術文章としては意味不明な記載である。

請求項: 10, 14

備考:

「ある程度」なる文言は、その技術的範囲が明確でないため、上記請求項に係る発明が全体として不明瞭なものとなっている。

請求項: 13

備考:

(1)

「前記ユーザを識別する識別情報(32)を前記端末(18)によって判定する」なる記載の「判定」なる文言が、どのような処理内容について述べようとしているのか不明である。

また、「判定」とは、物事を判別して決定することを意味しているが、端末において、ユーザを識別する識別情報に対して判別して決定するような処理が、本願明細書の何れの記載に対応しているのか不明である。

(2)

「ユーザを識別する識別情報(32)」と「ユーザ識別データ(ID)」との関係が不明であるため、「前記ユーザを識別する識別情報(32)を前記端末(18)によって判定するステップ(30)」と、「前記バックグラウンドシステム(10)における前記端末(18)の認証(38)のため及び前記ユー

ずの身元証明を導出することができるユーザ識別データ（ID）の前記バックグラウンドシステム（10）への送信のため、前記端末（18）と前記バックグラウンドシステム（10）の間で送信するステップ」の関係も不明である。

（3）

「前記秘密データ（SEC）を判定できるデータ」とは、技術的にどのようなデータを意味しようとしているのか明確に把握することが出来ない。

（4）

バックグラウンドシステムは、「秘密データ（SEC）を判定できるデータ（44）」を送信しているが、続くステップでは、端末が「秘密データ（SEC）」を用いた処理を行うかのように記載されており、一見すると、バックグラウンドシステムが送信する情報と、端末が受信する情報とが一致していないかのような記載である。

（5）

「一 前記ユーザの個人的特徴（56）を前記端末（18）によって判定するステップ（58）」及び「一 少なくとも前記ユーザの前記個人的特徴（56）に関するデータ（62）を用いて前記取引を実施するステップ」が、バックグラウンドシステムと、端末の何れで行われているのか明確でない。

請求項：15

備考：

請求項15の記載は、日本語として著しく不明瞭であるため、どのような技術内容について特許請求しようとしているのか明確に把握することが出来ない。

請求項：16

備考：

「請求項1から15のいずれか1項に記載の方法を実施するために備えられた装置」なる記載について、特に請求項13乃至15については、端末によって実施される方法ともバックグラウンドシステムによって実施される方法とも限定されていないことから、端末とバックグラウンドシステムからなるシステムにより行われる方法を意味していると考えられるから、当該請求項は、「複数の装置からなるシステムで実施される方法を実施する装置」について特許請求することになり、日本語の技術文章としては意味不明な記載を含むことになる。

従って、上記請求項に係る発明は明確でない。

請求項: 17

備考:

「コンピュータプログラム製品」なる記載の「製品」なる用語は技術的範囲が明確でない用語であるため、上記請求項に係る発明が全体として不明瞭なものとなっている。

従って、上記請求項に係る発明は明確でない。

(例えば「・・・プログラム命令を有することを特徴とするコンピュータプログラム」または「・・・プログラム命令を有することを特徴とするコンピュータプログラムを記録した記録媒体」等に補正することを検討されたい。)

拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

#### 引用文献等一覧

1. 特開2001-117873号公報
2. 特開2002-334055号公報
3. 特開平03-033976号公報

先行技術文献調査結果の記録

調査した分野 IPC G06F 21/20

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら下記までご連絡ください。

特許審査第四部 情報処理（情報セキュリティ）

田中慎太郎（たなか しんたろう）

TEL 03（3581）1101（内線）3546

FAX 03（3301）0737

File Number:

Issue No. 727303

Issue Date: October 12, 2010

### Notice of Grounds for Rejection

Application Number: 2006-540294

Drafting Date: October 7, 2010

Examiner: Shintaro Tanaka

Applicant's Representative: Masashi Yanagida, et al.

Applied Statutes: Article 29, Paragraph 2; Article 36

The present application is rejected based on the following Grounds. In the case that the applicant has comments regarding the rejection, please file an Argument within three months of the issue date of this Notice.

### GROUND S

[Ground 1]

*The inventions defined in the following claims of the present application could have been made easily by those having ordinary skill in the art, based on the inventions disclosed in the following publications, which were distributed either domestically or overseas, or inventions that were made available to the public via telecommunications lines, prior to the filing date of the present application. Therefore, patent rights cannot be granted, according to the regulations prescribed in Article 29, Paragraph 2 of the Patent Law.*

NOTES (refer to the List of Cited References)

Claims 1 through 17

Cited References 1 through 13

Remarks:

Cited Reference 1 discloses an invention for preventing a password from being stolen by a fake terminal or fake server, wherein a user-identifying ID, such as a user ID, is input in a terminal and forwarded therefrom to a server, the server forwards user-specific information that is stored in advance in association with the user ID and known to nobody except for the user to the terminal for display, and the user inputs the password that is desired to be kept secret in the terminal if the information represented on the display is correct.

Meanwhile, securing integrity of data by using a MAC or signature upon receipt/transmission of the data, and encrypting the data were already well-known techniques at the filing of the present application, and thus could have been easily employed by a person of ordinary skill in the art as appropriate.

Since biological authentication as well as authentication using a password was already well-known authentication techniques for authentication of a user at the filing of the present application, it would have been easily achieved by a person of ordinary skill to conceive of the present invention by using biological authentication instead of authentication using the password in the invention disclosed in Cited Reference 1.

In addition, taking into consideration that enhancing the security of a transaction by using information depending on the previous transaction is a well-known technique, as described in Cited References 2 and 3 for example, it would have been easily conceived of by a person of ordinary skill in the art to configure the presentation of information depending on the previous transaction in Cited Reference 1 as the user-specific information to be presented to enhance security

As for the rest of differences, these references are well within the range of design choice used by a person of ordinary skill in the art based on the techniques etc. already known at the filing of the present application.

[Ground 2]

***The recitation of the claims of the present application do not satisfy the requirements prescribed in Article 36, Paragraph 6, Sentence 2 of the Patent Law in the following points.***

Claim: 1

Remarks:

(1) It is unclear what processes are referred to by the expressions including “determining” in the recitations “determining (30) identification information (32) which identifies the user”, and “determining (58) a personal feature (56) of the user”.

In addition, although the “determining” means discriminates and decides things, it is unclear what description of the present application the



process of discriminating and deciding the identification information identifying the user corresponds to.

(2) It is unclear what data is referred to by the “data (36)”.

(3) The recitation “to signal or document the authorization of the transaction by the user” is unclear as a technical phrase in the Japanese language (Note: This item of rejection is caused by a literal translation of Claim 6, and can be traversed at our end without your specific instructions).

Claim: 7

Remarks:

The “acknowledgement data” cannot be clearly understood as to what data is referred to thereby from the recitation of the Claim. (Please clarify what acknowledgement is caused by the data).

Claim: 8

Remarks:

(1) It is not clearly grasped in a technical sense what technical data is referred to by the expression “data (44) from which the secret data (SEC) can be determined”.

(2) The recitation “documenting the authorization of the transaction by the user” is an unclear recitation as a technical phrase in the Japanese language (Note: This item of rejection is caused by a literal translation of Claim 8, and can be traversed at our end without your specific instructions).

Claims: 10 and 14

Remarks:

Since the expression “at least in part” is unclear as to the technical scope thereof, the inventions defined by the above claims are rendered indefinite as a whole (This item of rejection is caused by using ambiguous wording in Claims 10 and 14, and can be overcome at our end without your specific instructions).

Claim: 13

Remarks

(1) It is unclear what processes are referred to by the expression “determining” in the recitation “determining (30), by the terminal (18), identification information (32) which identifies the user”.

In addition, although the “determining” means discriminates and decides things, it is unclear what description of the present application the process of discriminating and deciding the identification information identifying the user corresponds to.

(2) Since the relationship between the “identification information (32) which identifies the user” and the “user identification data (ID)” is unclear, the relationship between the limitation “determining, by the terminal (18), identification information (32) which identifies the user” and the limitation “communicating between the terminal (18) and the background system (10) to authenticate (38) the terminal (18) at the background system (10) and to transmit user identification data (ID) from which the

user can be derived to the background system (10)” is also unclear.

(3) It is not clearly grasped what data is referred to in a technical sense by the recitation “data (44) from which the secret data (SEC) can be derived”.

(4) Since the background system sends the “data (44) from which the secret data (SEC) can be determined” and yet the terminal seems to perform a process using the “secret data (SEC)” in the next step, the recitation seems to indicate that the information sent by the background system does not coincide with the information received by the terminal.

(5) It is unclear which one of the background system and the terminal executes the “determining (58), by the terminal (18), a personal feature of the user”, and the “performing the transaction using data (62) pertaining at least to the personal feature (56) of the user” (Note: this item of rejection with respect to the former step (58) can be traversed by using an alternative terminology in the Japanese claim).

Claim: 15

Remarks:

Since Claim 15 is extremely unclear as an expression in the Japanese language, it is not clearly grasped what technical scope for patent is sought thereby.

Claim: 16

Remarks:

Since the recitation “A device, in particular a terminal (18) and/or a

background system (10), equipped for executing a method according to any one of Claims 1 through 15” does not specifically define, in Claims 13 through 15 in particular, a method performed by the terminal or a method performed by the background system, it may be considered to define a method performed by a system including the terminal and background system. Thus, these Claims seek patents for a “device that performs a method performed by a system including a plurality of devices”, and thus include a meaningless recitation in a technical sense in the Japanese language.

Therefore, the invention defined in Claim 16 is indefinite.

Claim: 17

Remarks:

Since the “product” in the recitation “computer program product” is an unclear terminology with respect to the technical scope thereof, the invention defined in Claim 17 is rendered ambiguous as a whole.

Therefore, the invention defined in Claim 17 is indefinite.

(It is recommended to consider an amendment including the recitation, for example, “A computer program comprising programmed instructions .....” or “A recording medium storing a computer program comprising programmed instructions ..... ”).

If new grounds for rejection are found, the applicant will be notified of the new grounds for rejection.

## List of Cited References

1. Japanese Unexamined Patent Publication No. 2001-117873
  2. Japanese Unexamined Patent Publication No. 2002-334055
  3. Japanese Unexamined Patent Publication No. Hei 03-033976
- 

## Record of Results of Relevant Document Search

- Field of Search IPC G06F 21/20

The Record of Results of Relevant Document Search does not constitute the Grounds for Rejection.

---

In case there are any questions regarding the contents of this Notice of Grounds for Rejections please contact the following:

Shintaro Tanaka, Patent Examination Division No. 4, Information Processing (Information Security)

TEL. 03 (3581) 1101 (Ext.) 3546

FAX. 03 (3501) 0737